

平成29年度

決算報告書

国立大学法人 鳴門教育大学

(様式2-1)

平成29年度 決算報告書

国立大学法人鳴門教育大学
(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,288	3,328	41	(注1)
施設整備費補助金	90	42	△ 48	(注2)
船舶建造費補助金	－	－	－	
補助金等収入	13	7	△ 6	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	20	20	－	
自己収入	692	702	9	
授業料、入学料及び検定料収入	615	626	11	(注4)
附属病院収入	－	－	－	
財産処分収入	－	－	－	
雑収入	77	76	△ 2	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	107	227	119	(注6)
引当金取崩	－	－	－	
長期借入金収入	－	－	－	
貸付回収金	－	－	－	
目的積立金取崩	－	－	－	
計	4,210	4,325	114	
支出				
業務費	3,980	3,913	△ 67	(注7)
教育研究経費	3,980	3,913	△ 67	
診療経費	－	－	－	
施設整備費	110	62	△ 48	(注8)
船舶建造費	－	－	－	
補助金等	13	7	△ 6	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	107	162	55	(注10)
貸付金	－	－	－	
長期借入金償還金	－	－	－	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	－	－	－	
計	4,210	4,144	△ 66	
収入－支出	－	181	181	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、主として、退職手当が追加配分されたため、予算額に比して決算額が41百万円多額となっています。

(注2) 施設整備費補助金については、主として、計画変更に伴い、予算額に比して決算額が48百万円少額となっています。

(注3) 補助金等収入については、主として、予算段階で予定していた補助金の交付額が減少したため、予算額に比して決算額が6百万円少額となっています。

(注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として、大学での授業料収入が増加したため、予算額に比して決算額が11百万円多額となっています。

(注5) 雑収入については、主として、科学研究費補助金間接経費が減少したため、予算額に比して決算額が2百万円少額となっています。

(注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として、鳴門教育大学基金への寄附金が増加したため、予算額に比して決算額が119百万円多額となっています。

(注7) 業務費については、主として、教育研究経費の削減に努めたため、予算額に比して決算額が67百万円少額となっています。

(注8) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が48百万円少額となっています。

(注9) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が6百万円少額となっています。

(注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、主として、独立行政法人及び株式会社からの受託事業の受入が増加したため、予算額に比して決算額が55百万円多額となっています。
また、決算額162百万円には、前年度以前における寄附金の繰越額を当年度に執行した金額2百万円を含んでおります。